

| | | | | | | | |
|--------|----|--------|------|----------|-----|-------|--------------------------|
| 教科 | 情報 | 科目 | 情報 I | 履修区分 | 必履修 | 使用教科書 | 東京書籍『新編情報 I (701)』 |
| 添削指導回数 | 4 | 面接指導回数 | 4 | 単位認定試験回数 | 1 | 副教材等 | NHK高校講座 東京書籍インターネット講座 |

学習の目標

情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、情報技術を活用して問題の発見・解決を行う学習活動を通して、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用し、情報社会に主体的に参画するための資質・能力を養う。
 ①効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解し、技能を身につけているとともに、情報社会と人との関わりについて理解している。
 ②事象を情報とその結び付きの視点から捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に用いている。
 ③情報社会との関わりについて考えながら、問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し、自ら評価し改善しようとしている。

学習に取り組む際の注意事項

| | |
|--------|--|
| 添削指導 | 提出期間に間に合うように提出する。 |
| 面接指導 | 各期に開講する番号を確認し計画的に出席する。 ●視聴票：面接指導の出席と合わせ、①～④の計4時間となるように提出する。 ※視聴票による減免は原則2時間（6割減免）まで。 |
| 単位認定試験 | 添削指導、面接指導（視聴票を含む）を全て修了後に受験。 |
| 単位修得 | （認定）に当たっての基準 |
| 評価方法 | 各単元ごとに3観点で評価（A・B・C）し、すべての学習内容修了後に総合的に判断する。 |

学習内容・計画

| 単元名（教科書ページ） | 添削指導 | 面接指導 | | | | 単位認定試験 | 観点別評価 | |
|---|------|--------|------|----------------------------------|-------------------|--|--|--|
| | No. | 開講番号 | 開講期 | 視聴票 NHK高校講座 東京書籍インターネット講座 | 観点 | | 評価規準 | |
| P. 7-34, 170-171 1章「情報で問題を解決する」 | 1 | ① ② | I・Ⅲ期 | 1, 2, 3, 4 7, 8, 9, 10 | 全課程から問題を選出し、出題する。 | 知識・技能 | 情報やメディアの特性を理解している。問題解決のプロセスを理解している。発想法の基本的な考え方を理解している。個人情報とは何かを理解している。著作権では、どのようなものを保護しているか理解している。情報化の進展による生活の変化について理解している。 | |
| P. 35-62, 126-127 2章「情報を伝える」 | 2 | | | | | 思考・判断・表現 | 伝える情報に対して適切な表現メディアを判断することができる。身近な問題について、問題解決のプロセスを当てはめて考えることができる。発想法を使って表現することができる。自分の個人情報を、どこまでインターネット上に公開できるか考えることができる。 | |
| P. 63-90, 142, 180-181 3章「コンピュータを活用する」 | 3 | ③ ④ | Ⅱ期 | 11, 12, 14, 15 17, 18, 19, 20 | | 主体的に学習に取り組む態度 | 個人情報を適切に扱おうとしている。身の回りの情報技術の活用場面を知ろうとしている。 | |
| P. 91-118, 146-149 4章「データを活用する」 | 4 | | | | | 知識・技能 | ネットコミュニケーションの特徴、デジタルとアナログの違いを理解している。音と画像のデジタル化の方法、色と動画のデジタル化の方法を理解している。情報を圧縮する方法、情報デザインの方法を理解している。ユニバーサルデザインとは何かを理解している。デザイン思考の流れについて理解している。 | |
| | | | | | | 思考・判断・表現 | 状況に応じて適切なメディアを選択することができる。 | |
| | | | | | | 主体的に学習に取り組む態度 | ネットコミュニケーションの特性を理解してメディアを活用しようとしている。 | |
| | | | | | | 知識・技能 | コンピュータの仕組み、ソフトウェアの働き、論理回路について理解している。アルゴリズムを表現する方法を理解している。プログラムの順次構造、配列やリストを用いたプログラム、乱数や関数を用いたプログラムを理解している。モデル化の技能を身につけている。シミュレーションをする技能を身につけている。 | |
| | | | | | | 思考・判断・表現 | 身の回りにあるコンピュータが入っている製品を考えることができる。プログラムに表現することができる。 | |
| | | | | | 主体的に学習に取り組む態度 | コンピュータの仕組みに興味を持とうとしている。 | | |
| | | | | | 知識・技能 | インターネット接続、インターネットの接続の仕組み、サーバとクライアントの意味と役割を理解している。インターネット上のサービスの仕組み、情報セキュリティの技術、データの形式について理解している。データベースがどのように活用されているか理解している。データモデル、データを収集して可視化する技能を身につけている。データ分析の際に注意することを理解している。 | | |
| | | | | | 思考・判断・表現 | インターネットの今後の利用について考えることができる。ネットワークのトラブルチェックシートを考えることができる。 | | |
| | | | | | 主体的に学習に取り組む態度 | ネットワークの仕組みについて興味を持とうとしている。インターネット上のサービスの仕組みについて考えようとしている。 | | |